

著作権上の問題があるため、ホームページ掲載分のアーティストの写真は削除しました。  
ご了承ください。

## 風とロック芋煮会 2012 @猪苗代湖

音楽イベント「風とロック芋煮会2012@猪苗代湖」は9月15、16の両日、猪苗代スキー場で開かれました。このイベントには、本県出身の4人組バンド猪苗代湖ズ(箭内道彦さん、山口隆さん、松田晋二さん、渡辺俊美さん)をはじめ、多くのアーティストが参加。多彩なステージを繰り広げ、県内外から集まった延べ約4000人の音楽ファンを楽しませました。ステージの間には、アーティストを交えて「ハンカチ落とし」や「だるまさんが転んだ」などが行われたほか、15日夜にはキャンペーンファイアを催し、アーティストと来場者が交流を深めました。2日間好天に恵まれ、観客からは猪苗代湖を眼下に望む大自然の中でイベントを満喫。

「芋煮会」と銘打ったこのイベントに欠かせない芋煮鍋は、町食生活改善推進員の皆さんが調理・提供。約2000食を観客に振る舞い、本町の食の安全を全国に発信しました。猪苗代青年会議所ではメンバー8人が参加。飛ぶように売れる猪苗代地ビール館の販売を手伝いました。15日夜のキャンペーンファイアでは、青少年交流の家の職員がフォークダンスと会津磐梯山総踊りを指導、町消防団第1分団の自動車部が出動し、警戒にあたるなど、イベント成功の裏には、町内の多くの皆さんの汗がありました。多くの出店が並ぶ「ろつくんろーる横丁」には、いわはし館が出店し、猪苗代のそばをPR、町内の畜産農家も加入するJAあいつ肉牛部会は、無料で最高級A5ランクの会津牛を振る舞い、好評を博しました。



会場の猪苗代スキー場は、たくさん笑顔であふれました。町内からも多くの団体が協力・出店



## Pick Up

今月のイベント

エネルギーを作る  
大変さを学ぶ

長瀬小学校のエネルギー授業は9月3日、同校と郡山市の布引高原で開催され、同校の6年生19人がエネルギーへの理解を深めました。この授業は、理科の授業の一環として計画されたもので、いわき明星大学の東之弘教授、石川哲夫特任教授と同大学の学生6人を講師に招いて実施されました。児童たちは、午前中に布引高原の風力発電所を見学。その後学校に戻り、講義や実験を通して再生可能エネルギーについて学びました。「日本のエネルギーの将来について考えてみよう」と題した講義では、東教授が省エネや新エネルギーに関するさまざまな取り組みなどを説明。児童らは真剣な表情で講義に聞き入り、エネルギーの将来に思いを巡らせた。講義終了後、石川教授と学生による実験教室を開催。手回し発電や温度差発電、風力発電など、準備されたさまざまな発電機を使って、エネルギーを生み出す仕組みを学びました。授業を受けた渡邊美森さんは「身の回りのもので発電できることを知りました。電気を作るのは思ったよりも大変でした」と感想を話していました。

## まちの応援マガジン いなわしる 広報 猪苗代

Oct.2012  
10  
No.624

### 今月の表紙



【撮影日】 9月15日  
【撮影場所】 猪苗代スキー場

延べ約4000人もの観客が訪れた風とロック芋煮会2012@猪苗代湖。このイベントのオープニングセレモニーに西久保岸獅子が出演しました。残暑厳しい中、舞を披露した皆さんに、会場からはあたたかい拍手が送られました。

## Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 風とロック芋煮会 2012 @猪苗代湖
- 06 陸上競技場が待望のリニューアル
- 08 平成23年度決算
- 14 スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO
- 16 まちの話題
- 18 笑顔でこんにちは／猪苗代そば紀行／保健だより
- 20 学びの泉
- 22 いなわしるタウンページ
- 26 暮らしの情報広場
- 28 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

ぜひまた来たいです



震災後、自衛隊の災害派遣で福島に来ていたこともあり、気になったので来てみました。自分たちが来ることで少しでも復興の助けになればうれしいです。風とロックのイベントに来るのは初めてですが、とても楽しい。来年

もあれば、ぜひまた来たいです。福島はまだいろいろ大変だと思いますが、負けずにがんばってください。応援しています。

メッセージボードには「平井理央さんサイコー」と書きました(笑)

青柳翔平さん(左)、峰田和伸さん(右):ともに山形県



一体感のあるイベント



天気にも恵まれて、大自然の中で音楽や食を堪能できるいいイベントでした。若者だけでなく家族連れも多く、一体感のあるイベントだと思いました。

主藤隆弘さん:郡山市

Interview



いわはし館  
そば担当主任

小坂橋晴雄さん

「そばの里」猪苗代をPR

風とロック芋煮会では、一般客向けに出店したほか、スタッフやアーティストの皆さんに食べてもらうそばも準備しました。全国から多くのお客さんが集まったので、猪苗代のそばをPRするにはとてもいい機会だったと思います。猪苗代にはそば屋が多くありますが、個人や家族で経営している店がほとんど。人的にもイベントに協力するのはなかなか難しいと思います。わたしたちはその点では恵まれているので、協力や出店が可能です。今後も、町内のイベントはもちろん、町外や県外での物産展やそばまつりなどに出演して、「そばの里」猪苗代を盛り上げていきたいと思っています。

Interview



猪苗代青年会議所  
理事長

渡部裕一さん

猪苗代、福島県を元気に

当会議所からは8人がボランティアとして参加しました。主に猪苗代地ビール館のブースの手伝いをしましたが、とても好評で、リピーターも多かったです。長時間で疲れましたが、とても雰囲気が良く、楽しかったです。ほかのメンバーも、楽しかったので来年以降もあればぜひ参加したいと話していました。町外、県外の人が多く集まるイベントは、猪苗代の良さを知ってもらう絶好の機会。こういったイベントを継続して行って、猪苗代に限らず、多くの人に福島県に来てもらえればと思います。わたしたちも、猪苗代や福島県を元気にするため、今後も積極的にイベントの企画や協力をしていきたいと思っています。

Interview



町食生活改善推進員  
会長

星久子さん

「食」で町を盛り上げたい

当日はとても忙しかったですが、お客さんから元気をもらえて、すごく楽しかったです。復興イベントということもあると思いますが、「猪苗代大好きだよ」「福島を応援してるからね」などと、お客さんたちがあたたかい言葉をかけてくれました。ふれあいを感じられるとても良いイベントだったと思います。町にも元気が出るので、このイベントが来年以降もずっと続いたらいいですね。参加したメンバーもみんな楽しかったと言っていました。私たちは本来、健康のための料理を作るのが仕事ですが、今後も会員一丸となってさまざまなイベントに協力し、健康食を通して、食の安全と町の素晴らしさを発信していきたいです。

福島らしい雰囲気



アットホームな雰囲気が福島らしくていいイベントだと思います。今は東京に住んでいますが、2人とも出身が郡山なので、震災後はスーパーなどで福島産の野菜や果物を見ると、応援したくなってつい買っちゃいます。県内はまだ大変だと思いますが、がんばってほしいです。佐藤誌織さん(左)、大和田祥平さん(右):東京都

著作権上の問題があるため、ホームページ掲載分のアーティストの写真は削除しました。ご了承ください。

